

2021 年 4 月 26 日
在グアテマラ日本国大使館

1 社会・治安情勢

（1）一般治安情勢

ア 不法移民（移民キャラバン）関連

（ア）グアテマラ国軍および文民警察が不法移民と衝突

1月15日から16日までの間、合計約9,000人に上る不法移民が当国に入国したことを受け、グアテマラ政府はチキムラ県バド・オンドの幹線道路にグアテマラ国軍と文民警察によるバリケードを設置。16日午後、移民キャラバンとの衝突が発生し複数名が負傷した。

（イ）予防措置態勢の発出

3月30日、ホンジュラスで米国等を目指す移民キャラバンの集結がSNS等で呼びかけられていることを受け、グアテマラ政府は29日、ホンジュラス国境付近の5県に予防措置態勢（15日間）を発令した（対象県：イサバル県、サカパ県、チキムラ県、エル・プログレソ県、ペテン県）。それ以降、移民についての公式な情報は確認できず、この時期にグアテマラに入国した移民の規模は不明。

（ウ）今後の見通し

ホンジュラスにおける移民キャラバン形成の理由として、従来の移民キャラバン同様、貧困や失業・雇用機会の不足、ギャング・犯罪組織による暴力に加え、コロナウイルス感染拡大と昨年11月に当地域を襲った熱帯低気圧イータ及びイオタによる経済的被害が挙げられている。また、米国次期バイデン政権は現トランプ政権に比べて移民に対して柔軟な政策を取るであろうとの希望のもと、家族・子連れで参加する移民が少なくないため、今後もSNSによる呼びかけに応じる移民キャラバンが形成される可能性があり、移民キャラバン発生時には、ホンジュラスおよびメキシコ国境付近においては、注意を要する。

イ デモの発生

1月から3月の間、退役軍人やタクシー運転者等によるデモが散発的に確認されている。一部、国際女性デーにかかるデモのように、過激化することもあるため、5月1日（メーデー）前後のデモ発生状況には注意を要する。

- (2) 政治的安定度
特に問題なし
- (3) 反政府勢力の動き
情報なし
- (4) 対日感情
良 好

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 邦人の被害事案
情報なし
- (2) 邦人以外の被害事案（代表的事例のみ）

ア 1月5日（火）午後7時45分、首都グアテマラ市第9区において、バス助手を勤めるグアテマラ人1人（26歳 男性）が、バス乗車中に銃撃され重傷を負う事件が発生。貴重品などの被害はなかったことから、恐喝に屈しないバス運営側への見せしめの可能性があると考えられる。なお、事件現場は有名ファーストフード店が並ぶ交差点の近くであった。

イ 1月7日（木）午前7時頃、首都グアテマラ市第13区にあるレストランにおいて、同レストランで警備を勤めるグアテマラ人1人（23歳 男性）が勤務中、銃を奪われそうになり拒否したところ犯人に銃撃され重傷を負う事件が発生。事件現場は週末になると歩行者天国として解放されるほど、生活に密着した安全とされる場所であった。

ウ 1月27日（水）午前9時20分頃、首都グアテマラ市第15区にある携帯電話の修理店において、グアテマラ人1人（57歳 女性）が、犯人により銃を使って脅され、金銭および乗っていた車両を強奪される事件が発生。事件現場は、首都にある住宅街から日本人学校または、大規模ショッピングモールへ向かう途中であった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

情報なし

4 誘拐・脅迫事件発生情報

情報なし

5 日本企業の安全に関わる諸問題

情報なし